

Protest

Event: 第88回 全日本学生ヨット選手権大会(団体戦) 88th ALL Japan Int-College Sailing Champs. Race Number: 4
Hearing Schedule: 2023-11-05 16:00

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 15: 国際470級 - JPN 4755 - 40 - 金沢大学

国際470級 - 第4レース - JPN 4803 - 44 - 名古屋工業大学

Witnesses: 64(福岡大学)

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Yes

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問に先立ち、調停ミーティングを行った。艇40は山内拓海氏、艇44は竹尾功太郎氏が出席した。調停員は「いずれの艇にも規則違反はなく、ペナルティーは課されないだろう」と意見を述べた。艇40は抗議を取り下げなかった。審問には、艇40は山内拓海氏、艇44は竹尾功太郎氏が出席した。

FACTS FOUND

風速3~4ノット、波は50cm程度。

艇40は第5レグを3Pマークに向かって、スターボードタックのダウンウィンドで帆走していた。

そのとき艇40のクリア・アスターンにいたポートタック艇44は、3Pマークに向かって帆走していた。

艇40はクリア・アヘッドでゾーンに到達し、直後にジャイブした。

その後に艇44は艇40の内側にオーバーラップした。

両艇はそのままの状態です3Pマークを回航した。そのときの艇44と3Pマークの距離はおおよそ20cmであり、艇44と艇40の距離は約50cmであった。

両艇間に接触は無く、両艇共にペナルティーを履行していない。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 18.2(b)

艇40がゾーンに到達したときにクリア・アスターンであった44は40にマークルームを与えなかったため、RRS 18.2(b)に違反した。

DECISION

第4Rにおいて艇44を失格とする。

Date & Time: 2023-11-05 16:27 JST

PROTEST COMMITTEE

Committee Type: Protest Committee

Chaired By: Sou Asahara (JPN)

Committee Members: Keiji Kato (JPN), Norihisa Takaki (JPN), Hikaru Tagaya (JPN), Sou Asahara (JPN)